

地域連携農業高校実践教育推進事業（新規）

【平成20年度概算決定額：67,040（0）千円】

対策のポイント

農業高校生を対象とした実践的な農業者育成研修モデルを開発し、新規就農や農業者大学校・道府県農業大学校への進学に向けた動機付け及び農業技術の向上を図ることを支援します。

（現状）

・農業高校は全国で353校、生徒数93,685人となっています。

（平成18年度「学校基本調査」）

・農業高校新卒者の就農率は2.5%、道府県の農業大学校への進学率は3%にどどまっています。（平成18年度実績値）

・新規学卒就農者2,500人のうち、約1,000人が農業高校を卒業者しています。

（平成18年度実績値）

政策目標

【新規就農者数(39歳以下)】毎年12千人程度

< 内容 >

1．農業高校での農業者育成研修モデル開発

各都道府県の教育委員会と連絡・調整を行いつつ、農業高校生の先進農家や研究機関等での実習・研修、農業者や研究者による農業高校での講義等を行なう農業者育成のための実践研修モデルを策定し、農業者育成教育を進めます。

2．農業者育成研修モデルの普及

実践研修モデルの効果を調査・分析し、その効率的な普及、啓発を進めます。

【補助率：定額】

< 事業実施主体 > 民間団体等

< 事業実施期間 > 平成20年度から平成22年度まで

[担当課：経営局普及・女性課（03 - 3502 - 6469（直））]

農業高校における担い手育成にむけた実践教育の推進について

